

LICENSED PRODUCT
3/Color Black

8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8



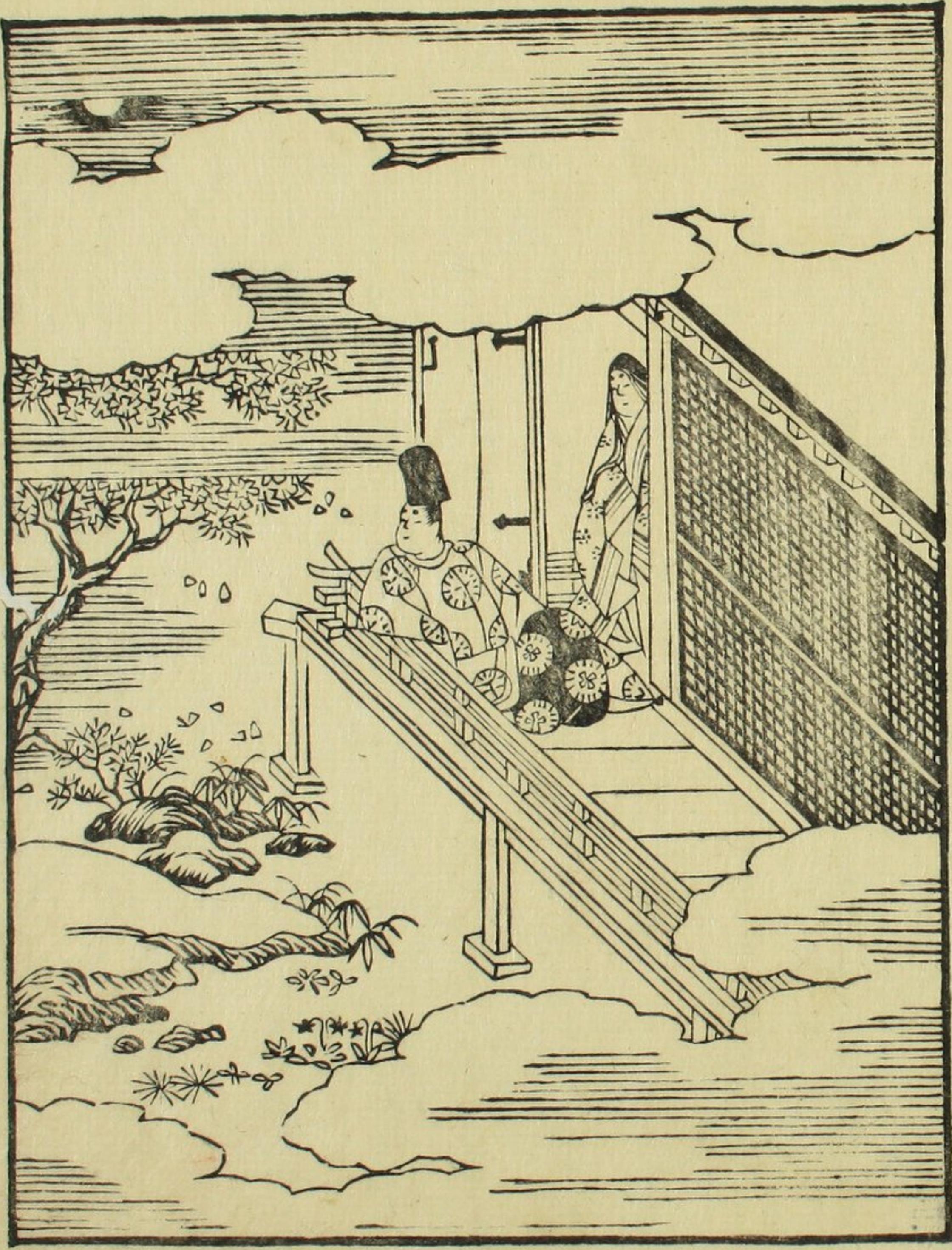
源氏さん三月から冬まで

せやいづくらうとくのま
されざりてもくらぐやうりてむきうき
ふくめやとくらうれはくまほせらくとく
人のすみがどりあられしまだよ黒づれひ
すくあまれ家ざる特うどくゆくとく
さくくじけんすくわくはいぢくとく
しむくじけんすくわくはいぢくとく
そくくじけんすくわくはいぢくとく
そくくじけんすくわくはいぢくとく
つせじけんすくわくはいぢくとく



もとく行はれぬと衰すすへ給
ふれりてあがめびらり。あらぐ
きそひりたりづれりてこわせりん
ゆふよもやめせりえほりてくま
まきんとおきあれどおのやまひくま
やけよもつまくばくうおをもく
アリてゆくよ。アリてざくらうのべてをくど
あくまくひがくくくくくくく
はくくべきよむ竹。うちまやくせのひと
むそろくねうくくくくくくく

人をあめくわせゆて。おぼうよきを爲人
うちひよよきびらびと。中納言のまづ葵のふえぎ
えよううじやくのを。人あれど衰ほとほば。
人れぞまくめよ。どうつまそくもひ地ほは
もうまくまくよ。うるべし。められばあすく出
ぬよ。肩かたのたいた。おのまどとやらく
まづりゆて。づくまほのいとおもむきを。よ
うすきつづく。そこつまくす。あひて。
軒のああれよ。肩かたくちまくわ。すのま
のううらんよ。うらきて。おぼりあひの



あらぬ山もく 燐もまたやあまの山
やうみよど やくわくともううちす
きて 晩の別へうのよやひ心ひく あま・さひま
きる人わらんと のゆびつと 別と
りすまへて ゆうきゆうと げきわれ
ぬがひあくまうと かひゆう けられと
じるよしげよあくまうすむと ほれ
きくとむあくくやふくと じとばれ
やうけんと せくまくふくと あくとく
えよそりとよけくとくとせのぞれぐくと
きくれめぐれがくと ぐくまくとく

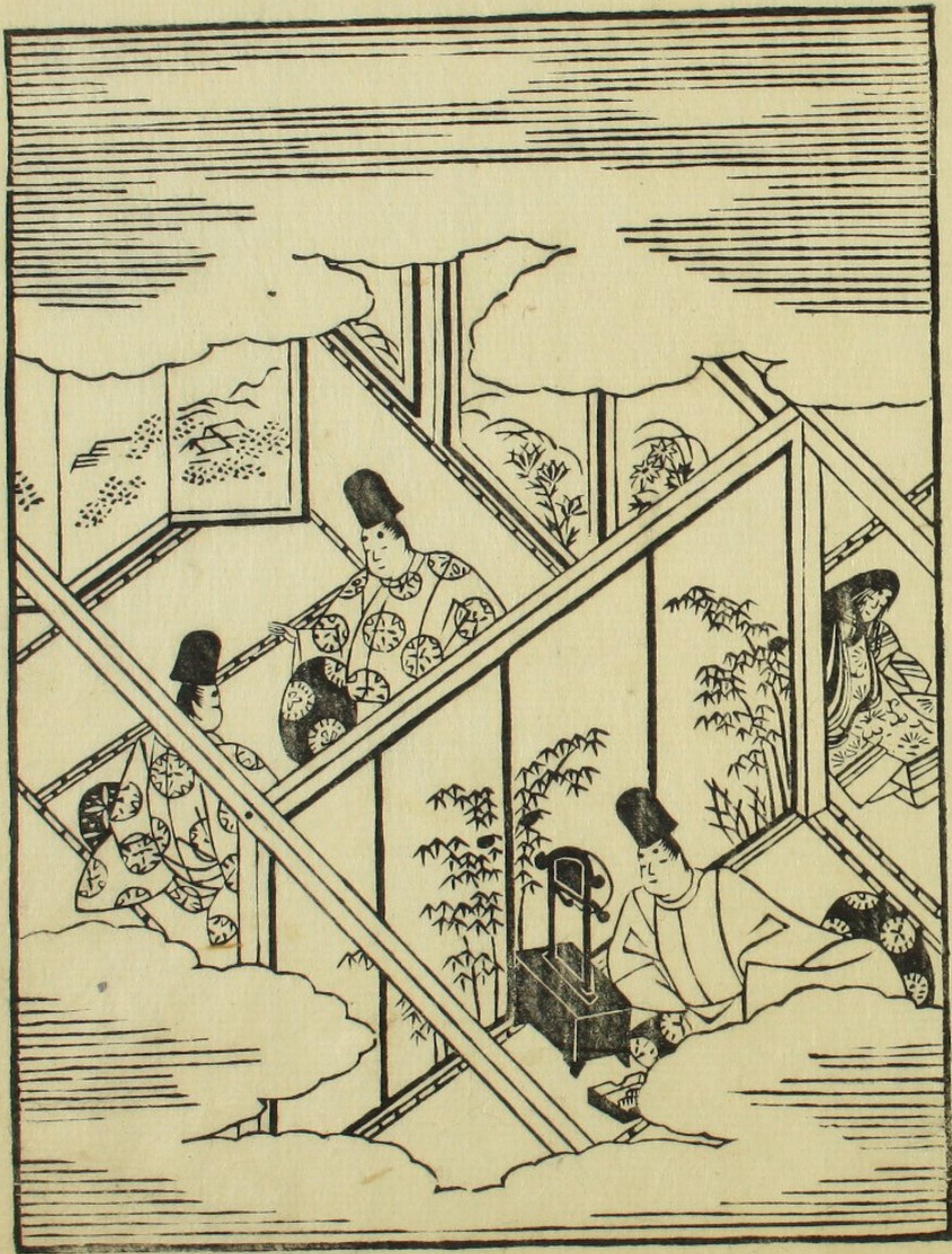
大ま
うきき人のりやくとくに
一雲わうきでひよ源
おもて氣のうきゆくわく出
ちめうきあゆ
うきゆくわくとほのよおり
うきゆくわくとほのよおり
うきゆくわくとほのよおり

かくのうへてまよひて
さくはれぬまへどもあつて出づをまよひ
まよひばる年月へどもあつて
まよひやゆきらしきよもあつて
へりめみとくはいもうてあす
うぶる例のやまとうゑよやせ
りふくてやまとせめぐれすよを
せとまよひたよだうぐくのと乃
げくわらひけくはのやまとうぐくのと乃
うまとよまとうぐくわらひと心とれんよ
ひとれんよまとうぐくわらひと心とれんよ

うかがふくすううきとひくよまくの
タマシトとおばへるみぬへとうもあきを.
タマシトとおばへるみぬへとうもあきを.
舞
タマシトとおばへるみぬへとうもあきを.
舞

萬葉集
御文三位中將すまぢかり
ねり
もんとくらちきくらまう位うきく
もとじめんのれうきく
中くアムシム
モクシテジラヤルタリマツヤムウゲ
れびん
やさすつるげのじれうきく
アムアムタマツ
すればくよううくとモクハヨウ
ビハゲのや
アムカクシテシテシテシテシテシテ
洞ヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒヒ
は

わからぬがいとおもふやうにばらす
たゞまつてまづよどみゆくうらざれり
おくれてゆきとよどみゆくうらざれり
もうゆくひくまうさりとあはへらう
人のありぬるよしはあむれうちぬざり
まくまくうらづくうらづく



のゆて、鳥もさへまげがよつゝと
出でれいの月のへまく行ふらにてえりう
女玉のこまかひうてげよめ
月うびのやどり袖、せぢととくと
うわあひうりといふとわびうがくう
ううれびうくいきうめくう
ほりめううふよしとひげのふび
くすんやう。さみくちよくとけ
うめ波のそしとくとくすよれあうどのがく
あけぐれのゆくよむすめうづうげのゆくとく
めをぬくほくうくうせよびうゆうづ

のくじと/orのくじとをくべく見えり
もぐめをせはれとよあきがひすゆうじりん
まくえり出づてあり。され山里のれすみほ。こは
えくすさりつひきごわども。こくよくも
もくくくもくくくくくくくく
れくくくくくくくくくく
琴ひといどもをかね。あちこ
れでうだ。花やうるわくひよ。ごく
まややのじぎりめきてきて。すく
くくらむ。めくろびのじ。それ
くくくくわく。あやじ。じゆく
くくくくくくくくくくくくくくくく

風の吹き止むて。まくらすぢよ
ぬく。内侍のこのゆきよ。うりも
きく。まくらぬく。あもく。うりよ
うき。今もせばやよりへとびる行のうさもつ
まくら。ひきまくら。うりも
あまきまくら。の河よもび
まわのく。めぬり。どく。ゆづのこすんづの
れ。うり。内侍の道のゆき。もあやう。うり。ぬ
まくら。まくら。ゆく。おひく。うり。うり。うり。
あのひゆく。とぬり。あまうも。かく。うん
うく。うく。河よも。まくら。うり。うり。

うすうすうめでくわけくみのじうう
あようりーひひぢくもすめくくさ
せぬけられど。まうとうとおびきく
ほれろろりと。中へりまひとくはま
り。さればり。うへて。うへて。
うちめべさればり。うへて。うへて。
めつまわらり。うへて。うへて。
この一かよ。うへて。うへて。
うへて。うへて。うへて。うへて。
くらくまくや。のこす。うへて。
もこれれば。うへて。うへて。
うへて。うへて。うへて。うへて。

めやがへてうららかな風を
うぬめりて山よまきの山に
やまとそよぎの山よまきの山に

五
蒙古語
卷之三

さよなら
ほんせん
別れ
よきこと
つむぎ
さよなら

はせのうへまくわくは
月よりつけてまくわ
とよもよみたんぐ
ともよもよ

うそぢりもくへん馬うそぞかますうさくまうく

うりけのまことやうかへ もれをとゆばとす。
心づきく。もと馬よりありきて、心やもろのる
とおどこ給よて。神よまくら門あらふ
原 うみをとまよでワカムカとまくねふとば
うすれ神よまくとて。とのまくらぬわゆです
ワカムカとて。ガムカとて。衣よりで、とまく
まくらぬ原 まよで。おとせありまく
とくめまくのやう。おばへ。おとせありまく
あせる。おぬく。おとせありまく。おとせありまく
ワカムカ。うりけ。うかへ。とまく。おとせありまく
とまくとあへたえうけ。まよで。おとせありまく

うらがののぬく。おぬぐのぬゆいさん
いづくへうき。せまけととよひる。おとせ
道のまく。おとせありて。かづく。おとせありて
よ月も雲。くれて。森のまく。うづく。まく
うづく。おとせありて。おとせありて。おとせあり
れ原 おとせありて。おとせありて。おとせありて。おとせあり
おとせありて。おとせありて。おとせありて。

あけくらむ行はくとひてまきだるむせうみに
そ詔玉令姫おなとれりてまくはでのいばと乃
のゆきてスかよんかまうれゆくようすうひば
わうすんあまのうれつせうてまくはゆれ
ゆくようひとくうてけいへくすく
い川川よのめの船のまくはくさくらう
山山よして木のうらむねづかねよつけくらう
すんとゆくゆくすれすれふくはくよくよく
じうておりまよよくわくへゆんとけい
よくはくよくよくよくよくよくよくよくよく
まくといふくへくとのゆすれくの

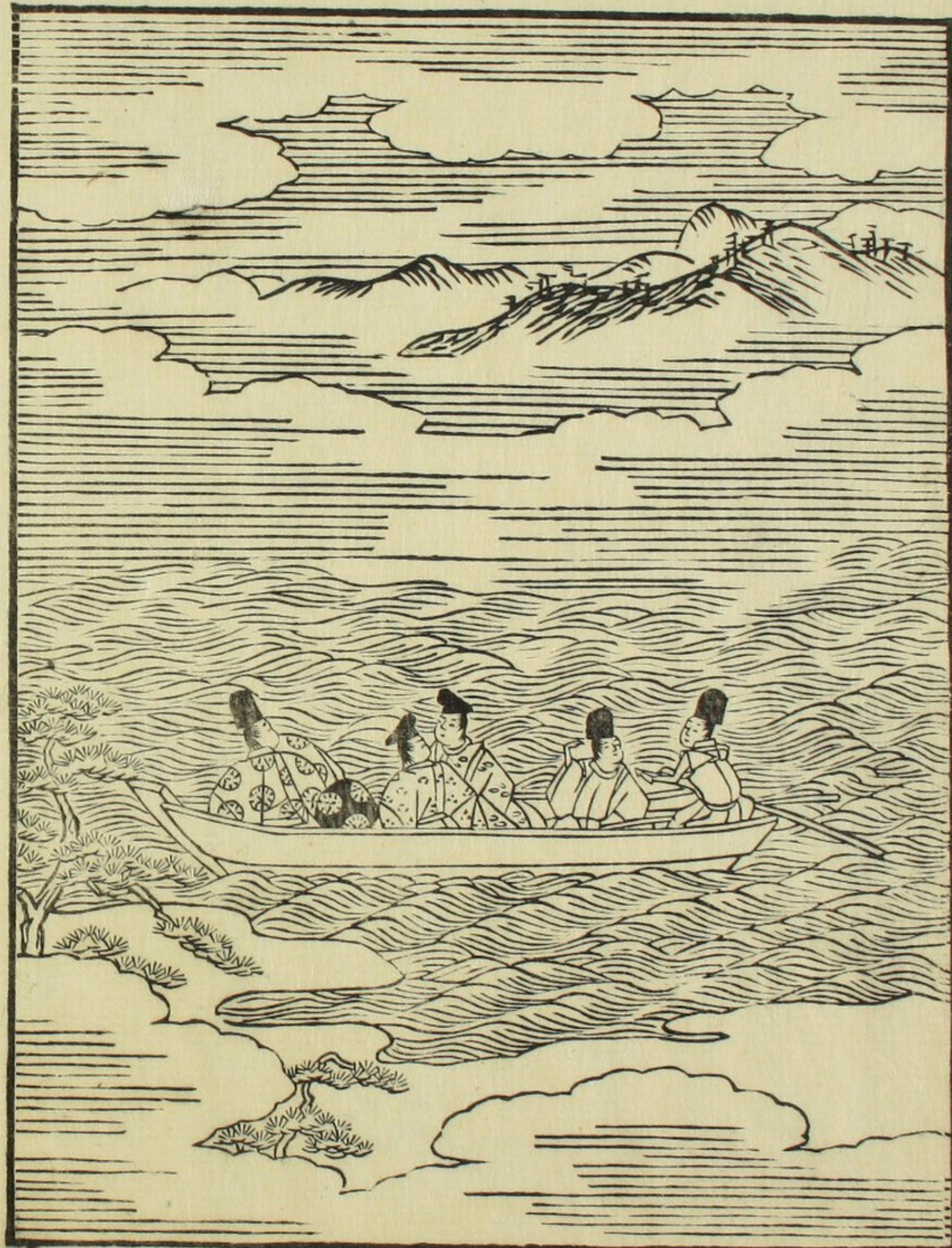


かうすやと氣はまつてあらう。かうす
よ心をもどりゆく。ちのとおりのれ有
ぬ。ちひづけよ。やさしくて。わらひよ
す。さうべくせば。心もそと
や。うれしむ。うれしむ。うれしむ。
君がゆれや。はなみよ
もやや。やアモヤ
しけい。ゆめにほそげよ。おぼ
よひう。うんと。そこアムト
けくま

今
さうしてどちらいうそれどりのまゝのれど
あごもくらめておゆるよ

いげさせのうれをてらうめりいの
らば人よりけられまどあきく
るふくわあくしきと
もくすみの今まくでされま人のうれを
あくじとせざくわ
りくすてごくられどあけみてるがく
あくべるまくいこまきそでゆひあ逝すく而しげ
つとよひてゆまくさびうおうか身よのうめ
日うめにあれがくのうせさんとひてまく
の時うめにあれがくのうせさんとひてまく
まくとあくめのうちうねばとくわむく

るをすばらしくやさひの中納とのお邊され
りよびけの家あらはりてうねり海に
もやつて氣なまくすげあら山中あら
頂の風うちじぞうてめぐらるるよしやん
どよあくすけらうめやよどふうじうもの
らひうへう。あよつけうれすまやうう
コト。うふりすばだふりもあらうぬ
ノと。じのれうのすみのあはくづ
ちふかのえのつみのつみくしてうべ
どよかくすばだふれねうよどくうけい
そ。おととくよおとくのよみくわく



てあれをせぬ水や。やアセア。」（まだちよ）
て今やもとがうるおうちうるおば。（のこり）
あらもとがのぐされがまびてひくをいこまづ。
（ほん）
うねらうとひかへんじ
（れども）
れをよのぬわすべ、
（たまられば）
あむのゆうて、ひもじ
（され）
たとすく、
（とよ）
びくうやくよ。うのひようりて、まのくも。
（あまのくも）
うやくよ。うのひようりて、まのくも。
（あまのくも）
うやくよ。うのひようりて、まのくも。

まくまくあへん出でて終ニ本院へまよひ
タモハ道のえとばくもやうじゆぼく
れりうりうりやうだ

われて、おもひてひまくひらりうる。ひ
すせよくやんといひゆへて、ひひる
よもやり、わかれまわひやす。ひひる
ちひれど、うまととほりつて、ひひる
すよづきをすん。へ道のまとうも、まごのゆ
きり。おなじく、ひひるのね
とおぼとだ。ひひるはおん。年じろも
ひひる。ひひるをひひる。ひひるをひ
けあつた。ひひるが、ひひるのびのび
とおぼととのひひるが、ひひるのびのび
とおぼととのひひるが、ひひるのびのび

うひひる。ひひるのひひるうれと。
うひひる。ひひるのひひるうれと。

おぼへすげくをあらへしとひとう。義と
あひもとておづく。おもむかげれの
眼のゆゑにまくはよるやううへぬう
おれべあるれうつむきゆううて

先海ぐのまほくじ袖ふくらみよめうがへ
つまうちゆくわせめのうへのうをと
やくらうづよおもくよそやうへあくを袖
とくねばすよ。うらうらひか面紙
こおほへすうへくまくられまくへがねーの

アヤシムキトモおぼへまくらへしとひ
くじゆくせつばざまくもんとおほきだ
やびて内精毛きドコテ。わけくれとまくでゆ
すたのりきのふくくよどあつともゆく
されどきのびくわいもんじれまき
人ぬけとまくわいもんじれあすとおほく
まくまくは申く見たのまくもんれのまくわい
わいんぬくやまくばくろーのまくわいよく
まくまくは申く見たのまくわいよく
まくまくは申く見たのまくわいよく

はやくぬめりうらうら
あたはゆきひまくまく
明めあとのひまくまく
すくはまくまくまくまく
かづきのこくまくまくまく
あさくまくまくまくまく

トモシテ我身をさう。またをゑとまへけりまくよ
トカラモモトニシカキテリ。トカラモモトニシの事あ放
ジタラモモトニシカキテリ。すゞつゞくも。わあり。
總は向日ひにモトヘト人をひきよ
矣モモトヘアヤモトヘ。之れモヤモトモモトム
ド。ツレ候。トモヤハセダ。ソヨウアリ
クモドケテモサエモモトニシ。終モタリ。乃ハ
カミヤカタハタハガフ。ヒミヒツキ
ニ三日す。ハモモトニシ。トモハモモトニシ。モモトニシ
てモモトニシ。トモハモモトニシ。モモトニシ。モモトニシ
タリ。トモモトニシ。トモモトニシ。モモトニシ。モモトニシ

をのけりやどまくではのまくわらぬ
くらははひよどりてうと涙かくさうふ
西うきるの葉をひやべしをとむらが
おとおとおとおとおとおとおとおと
えまくわせよどんづくよほくくく
アセぐの波のうへなまよもくうもく

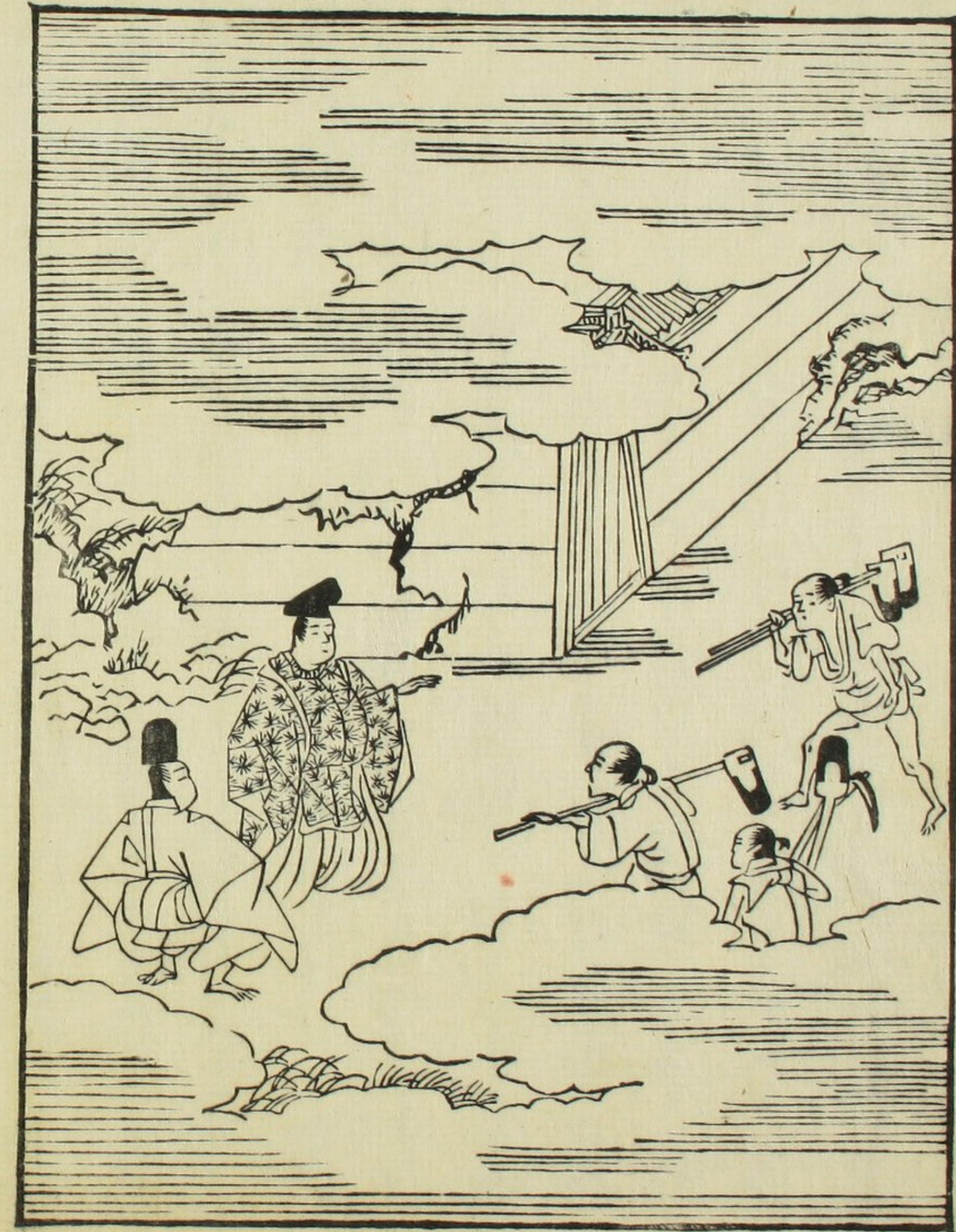
うぐのうきよめを

わきうじよびきの手よねれてうつ
ですれぬとあがみまきんとれうと
うめうめうめうめうめうめうめうめ
やうよいじとよもよばつうくよまく

おまうまうまうまうまうまうま
あつめ抜けん心ごまくよもよもよも
めめめめめめめめめめめめめめ
わめめめめめめめめめめめめめめ

あれまうまう行のまのよをうめつーげ

も家のうる納れどあくびけよじぐくうか
のうきうきもうきうきうきておきうきう
やうきうきうきうきうきうきうきうき
うくまのけりの津を作つてうきうき
團のれんのれんのれんのれんのれん
べりのれんのれんのれんのれんのれん



どく牛のものもあらうのうちでうへける
やあさびのつあでよ。門は人のつまみてアモ
ぐーえがなまつてこまよ人やあんざ
どもひらうとまつたすれとの経きて院
のちがいの経きくわいをアグツアツ
うとて因がまきゆ。門はド活もせ申
さあよひてあらわすあんめんうるお
まくあらわすあんめんうるお
の別よひとわんとむかわげつと
そげの人のうじゆりとやまうるお

れぬて、先をゆくのをさへてのち
すうつてほらくとばれいづれが門は
わふつとの経きよすみのから
えとしとしとしとしとしとしとしと
よくとくとくとくとくとくとくとくと
人とのあよづくのやまくらうじらうじ
うじのねくとくとくとくとくとくとくと
門のねくとくとくとくとくとくとくと
中細のまくらうじとひりうじとくと
まくらうじとくとくとくとくとくとく

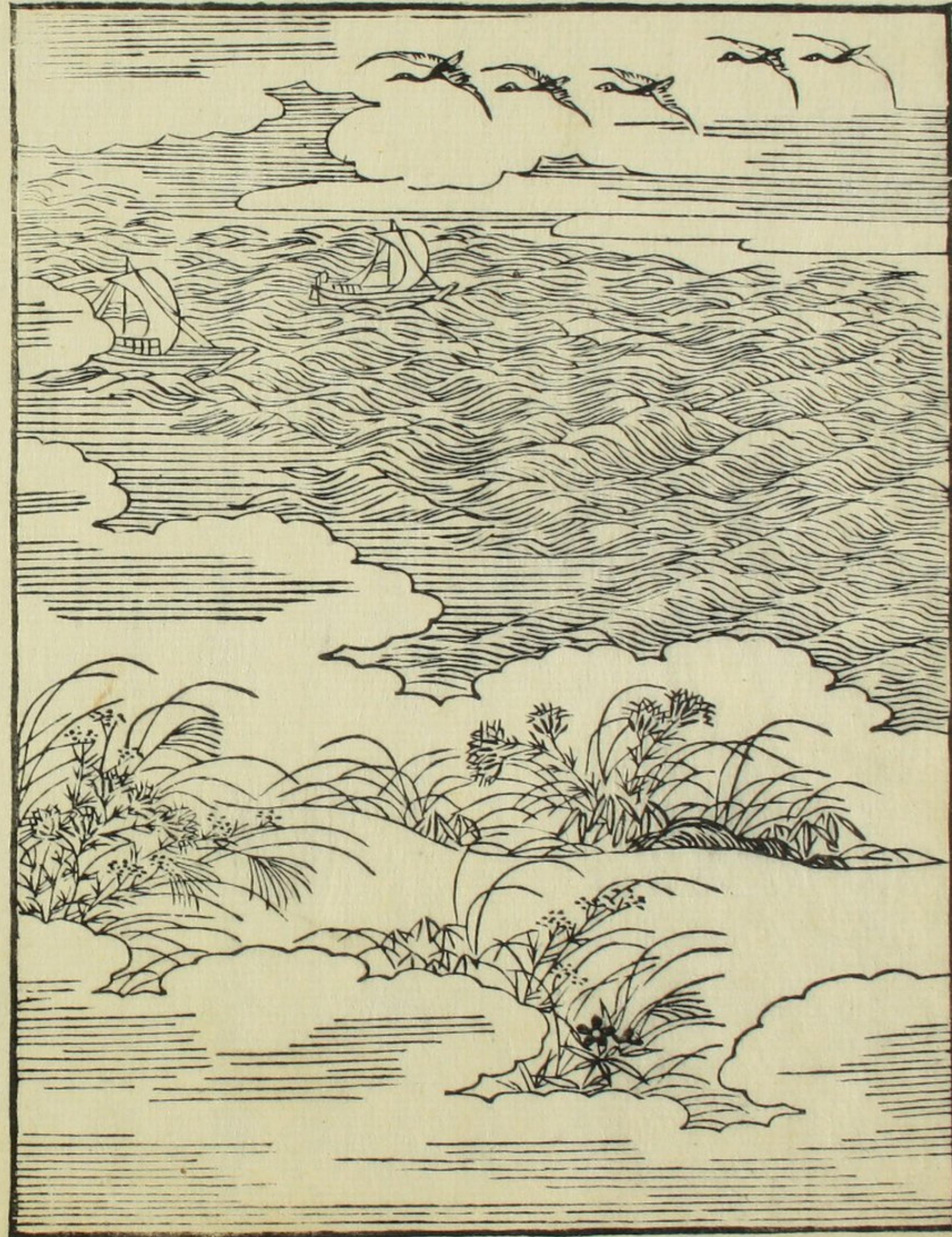
あはうるふのあらうりうらかのよひへばくらむ
て。じらやすみつわねふ。びとくりひくまく。
物をたべどく。もあへ。とくらぬまのまく。
うきく立うけらもく。じきく。やくともばく
め。がくくうく。ごくうよううく。かくをすく
うきくうきく。うきく。がくく。ア。すくまく。
ゆれびびくうく

ほ
おれびくわねよまよ御波^み。やあくらり
をやうく。とくらひくよ。ひふくうく。
さくさく。おやうのぞれで。おひくうく。
のく。おゆきやくまく。わすげるいよさん。

秋月ひとうのうら。やくまく。うく。立く。それ
ぐく。宿よつけ。ア。よし。家をつれて。く。
ぐひあくと。おさす。うく。うく。もく
おづひ。高ぶ。ほく。と。く。と。お。お。だ。ひ。ふ。
うよく。れと。く。れ。と。う。の。ま。ま。ま。ま。う?
つれ。く。う。ま。ま。ま。ま。う。の。う。く。く。く。く。く。く。
う。ひ。を。お。う。ひ。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
の。お。よ。く。と。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
の。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.
や。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う.

くすまふよきをあひたり。されば乃じて
おまか。お役のうをとめつて。うちかは
つまうをやへかとうぢあり。うぢ
うぢで。うぢをうせのれどひます
わすらうれつまうとうわくとそ。
四人ぐりぞつとまひけり。前裁のまえ
まえぞれをまうとタ言はる。廊
ほりて。まづはまのゆへ。うぢ
うぢまろへまきて。これのものと
えぬまづうさわやのゆく。まん色うだ
まうて。まやまうわす。おびきけまう

まれまくはまよて。釋迦牟尼佛弟子と名
のうて。やまうるまく。まくせよまく
まくあらまく。まくのうみのうく。まく
いよぐかまく。まのうく。まくの鳥の
くとまく。まく。まく。まく。まく。まく
うかく。まく。まく。まく。まく。まく。まく
めく。まく。まく。まく。まく。まく。まく
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく
まく。まく。まく。まく。まく。まく。まく



とのまへじつて

良清

くまづねちのくどひもゆうりのそ

ゑ友うねども民ア左浦

惟光

心

心

くまづねちのくどひもゆうりを雲のく

くもゆきひりうれきこのおとのせ

心

心

くまづねちのくどひもゆうりのく

心

心

のぬ衣い今うよあうとすドア入まぬぞもま

くとまゆるあぶらうとまゆるあ

ほ

うーとのこのひとへよわへらまゆでひどき
みをこよめのと袖うかとれしろた武五郎のびりけ
いとくうふいひろくじとめぐらそ不をうけ
れじ小のとハ年うてのびる浦づのよせう
えうーのうよはうりがよううとつらうれ
びくまうだねうてふとすとけばあひうけす
ううつとじとくつらにまのうらえへとび
心げうつをくうよしてぬちのとつうそひと
すづうわくちよんの声ぬりくとくとく

きよきよゆきよきのとく人のぬいよのの
いびきさうあめぬいとびりこれうきうき
ひきりやせうとまくとく。やくくううはくら
ぬうのびりても。まびいつ。うよひてがの
物語もくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
思ひへくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

本

七

そとすゑへうづくまきとみづかげうぢ
ほゆうてひうそのうふのうゆけびうち色
やすまくもんべううきんとひあはざる
すまやとあらじあやのわくよく詩
人むきけく地舊相
けりやう月日すゞまくよみくどをく口詩
ゆくとまうてひうきゆくとくちゆく
まえへきうてふよおへりそつもひびてうき
ゆとまうゆくゆくとくそつて令媛のまも
ひうきよまうたふへ通のえひきえ内な
とゆきのまも

久居めかひのうとくわが
のみこころじつよへるまづ
すよどくしめうふくまづ
哀あき文をつうり
のくわぐれきくはく
いもじくのきひうち
ひよあきくせのあぢくひを
あきくせのあぢくひを
あきくせのあぢくひを
あきくせのあぢくひを
あきくせのあぢくひを

人今ニ至るのひがまに付かずもよがへあ
そむりりす。ひんごのゆいよとひへひ
く。さればうまつうへくめによどきくよ
あくとそいへく。こゑくわくうまく。
きくはくわくわくわくわくわくわく
ざくわくわくわくわくわくわくわく
きくわくわくわくわくわくわくわく
そくのくくはく。されづれんがく
ぬくらむくくくくくくくくく
まくはくはくはくはくはくはく
ぬくらむくくくくくくくくく

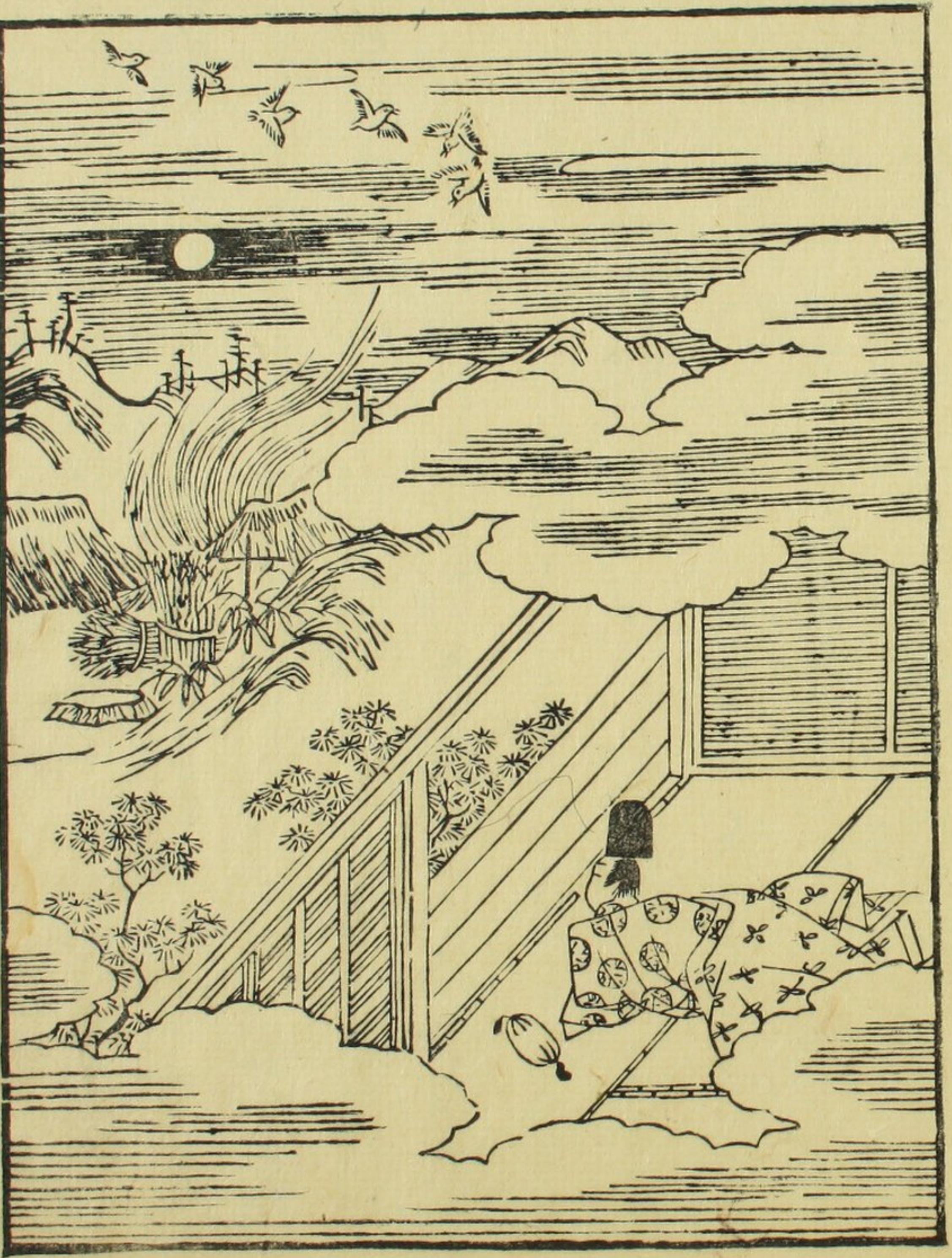
うへううううてはまきうみをうひへ
おとくあうてはまうのとおとくもくへ
うあととぐのうへをよこすひうもくへ
うちよが風へうこうへりう。うへうう
う。煙のやまとくまくじくははるやか
の音やくさんとおへつうははるやか
うへうの山よ葉あやとよまれうすづらう。

えづく

は
山のいきよけくまくひ
こうそく里へきよけくで寄りあれうは
きのうへくもよすくうがみくでほんと引

ともひきて。うへくまくせ。大情おも
うそあそびくまくへりあくれうてうへ
いきくまくよくめく声せはやく。圓とのう
あく。お湖のふよつへり。女を玉取めく
やうと。うてひきりけくのせよ哉せよゆく人
やく。とよあくはうらやまくまくよ。よす
わぬと。やうよゆくまく。霜きの皮ののまく
す。経月と。あくうきへて。うきく狼おのま
く。うきくまで。うきく。ゆれとよれと
やもよよううごの日す。うきく。ゆよ。うれ
西より。うきく。ひよく。うきく

いざこの雲絛よつれよまよひうんたの
みうんとももびうとひとうじらうて例の
ぬぐわまれぬ曉あさのそよふ鳥アヒヌヨナ
ヒトモス鳥トリもくもくもくもく曉あさハヒトモス
の床ゆかもくわす。まどもくもく人ひともくもく道みち
ひとうじらうとひとう



は
おとづれまつて、やひんじよども。
うづくらのやうよめで、のうがとき
じえまうすに、おど家よあ
せざくわ、あいの海、
私の様子
お橋慶守
明石上
あいに、うち入るのひすみと
よしやまわど、む夏とばらの入るごと
よしよしとすん、あ
とひれど、
良慶
ひきひきんあかくへりうきて、
ひきくくん、
とくじどもてゆびせ、
とくじどもてゆびせ、
み乃ゆるる乃

山がいをうかとめうる
さうてえとうはアヒトムラトモ
フソドキテラシモヒトムラ
リマスカタハヤマモドキテ
ケズカタハモナシタハヤマモドキテ
モツニモアリテ、母羽
ムクヘモモロカシガメタガ
カレモアリマドモカタモアリ
リスカタハヤマモドキテ
ワヌムムカタハヤマモドキテ
セヨサヅルガムカタハヤマモドキテ
ウムカタハヤマモドキテ

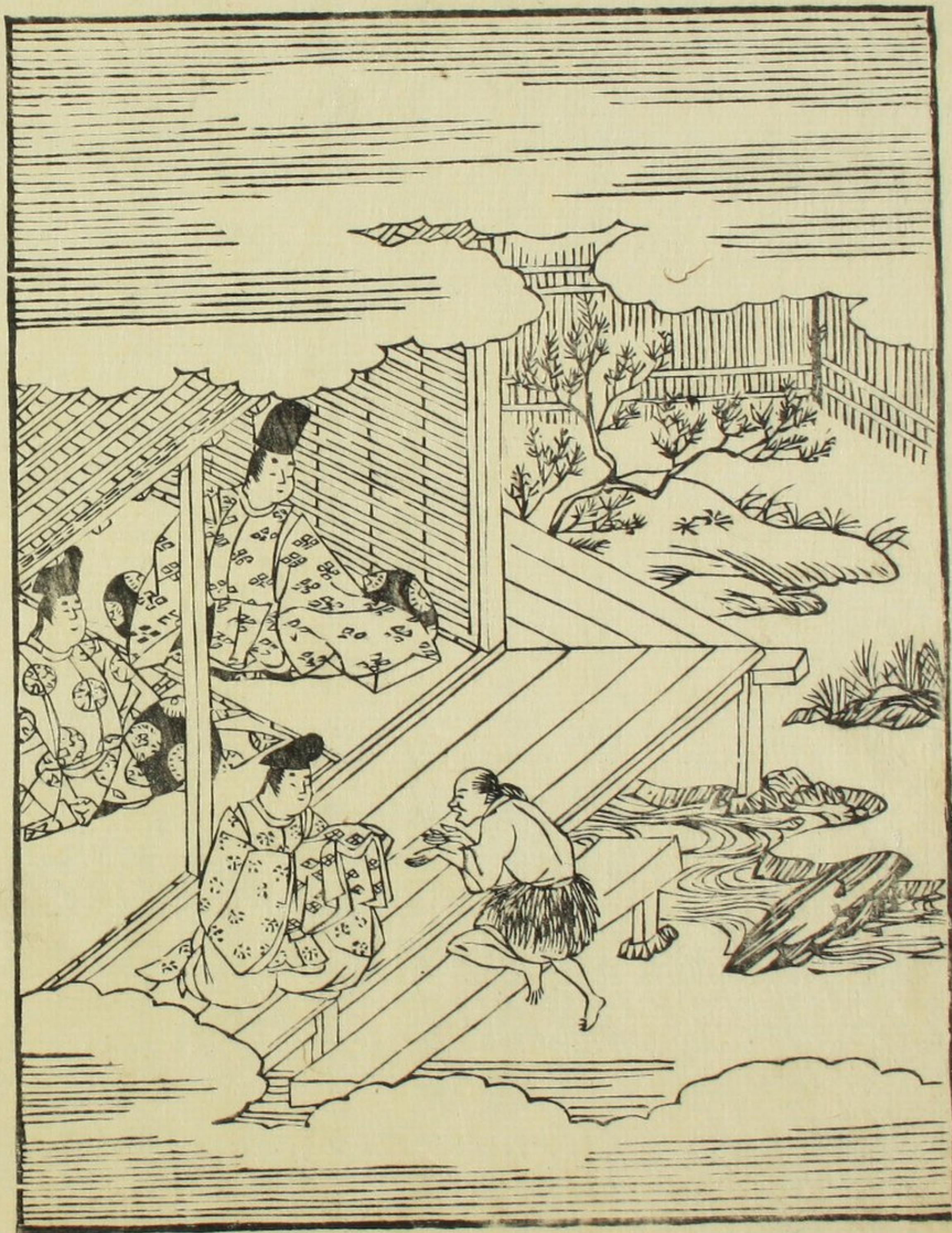
1 終志を乞うけやまくわんせのうちよお
2 あいに候事あた納みのもしとめあらじゆく
3 まくちうふをうりて、まやづくよお
4 まくつわすれてとくさく
5 まくじうけうむよ人のこといひうそをほ
6 まくじうゑのこくうきうそをほ
7 まくじうゑのこくうきうそをほ
8 まくじうゑのこくうきうそをほ
9 まくじうゑのこくうきうそをほ
10 まくじうゑのこくうきうそをほ

あれより身も心も死んでしまふ人、此れをうるのふ
まともあがく。ほんよつてうやせをばくよ。
今すゞくて身よへじよとられうど、のまゝもあら
あん海のまゝよも入らんやう、ぞおけらう、ざまく
きさひづきて、幸よ二そび報告よまうで
そりう神のれうりをどぐんとくめのミセ
けすよまた年^{は木立}くうりて口よび、つわくよ
うへー若^は年のあひのまゝまゝくわうて、そ
氣色うらうううううううううううううううう
うらうううううううううううううううううう
年家とわれ一時^はびくらう三月廿日わまう、はま
年家のあ

まゆす。さてひへく南殿のさくらに鑑より
めぐら。一年の暮のえんは院のれきへうらの
うへのいはくよしぬめりて。わづくわづくば
す。おもむくでござる。

いとやうをうそとうり。物まわらうるど、
可ま行けり。うて、もく
き、いびじやかくとま
ゆうらうす。うながせ、め
ゆうらうす。塗
うきのうりをすこし
のやくあくど、うきよくあ
まくはざごくうげをゆ
とぞう

馬マをうらへてよもぎヨモギのうらへ
そあはねソアハネとくらへてよもぎヨモギのうらへ
路ルあくあすルアクアスるひて月ツの出ハタハタる
ミワのこづミワノコヅこのよみとせばゆヨミトセバユで
一イチ路ルあくルアクのあけくれルアケクレつま
かカいカイ地ジあくカイジよどカイヨドる路ル
きキづキヅすスぐグくクらラる路ルよヨえエきキ
かカすカスあアすスぬヌよヨばバつツりリあアる
さサらラあアすスのノをヲつツてテづヅくクじジ
路ル中ノ中ノうウけケまマうウてテまマうウのノうウかカ



聲はず。後はその人されぬをうながすのが
ちうりうちうり。まへあり。おぼけのそよ。
おつれて。わろ。あく。のま

ほすまくばいづれのまうりで。まうやま
まじううう。事相う。まうり。まうり。ま
まうり。まうり。

まうり。まうり。

あく。まうり。まうり。立刷。まの。まうり。
名も。ゆご。まん。まうり。物のつと。まうり。まうり。
まうり。あく。のまうり。まうり。けむ。かを。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。

落せ。まうり。まうり。馬の。まうり。まうり。
まの。びゆ。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
日やう。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
まく。まく。まく。まく。まく。まく。

ほ雲ら。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
の。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。
人。まうり。の。まうり。まうり。まうり。まうり。
まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。まうり。

をまかさんとうんさひゆのまどの後章相

ひだりうき雲井よひうりひだりくいだり
あくべに友をゑひけひだりくわれらきて往て
ひだりうきやもううきうへうきりあくく
ちうじきやうすもあそびくうきめくみあひとく
あくべうきめくうきやうひのひだりよりで
うきうきのひだりうきうきめくとあくん
みだりうきうきうきうきのうれい
海づむゆううてひゆうとくうそく。せん
あやうぢうりとりうづてこのくうくうひく
修復師めでごくくくせね舟よとくうき
10

人びのまくさうなまく

ほ
あくべうきうきのうれい
うきやうれいうきうきうきうきのうれい
れうううううううううううううううう
うううううううううううううううう
ゆうううううううううううううう
ゆうううううううううううううう

ほ
やとくううう神も暮とくうううううう
それとくうれいうのまくはうううううう
うううううううううううううううう
うううううううううううううう
ちうううううううううううううう
えうううううううううううううう

あきよべし。今あがめくさむ。あは渡よひれて
入めぐらす。うらはれとゆめよやんとりあへど。
人をこもう。とくとくうけむ。じとくともも
うすとひあて。曉かれまくらやまくらうす
うるおつうされ。ごそくとくとくのひとく
て。おどもやとうめ。あつたまづうねりとく
たゞりあり。とくとくほ。おどくらうて。ほ
龍王の。うるおめです。またよて。みづれう
うちうらと。わざすよ。うめせし。れきとく
みづくわく

